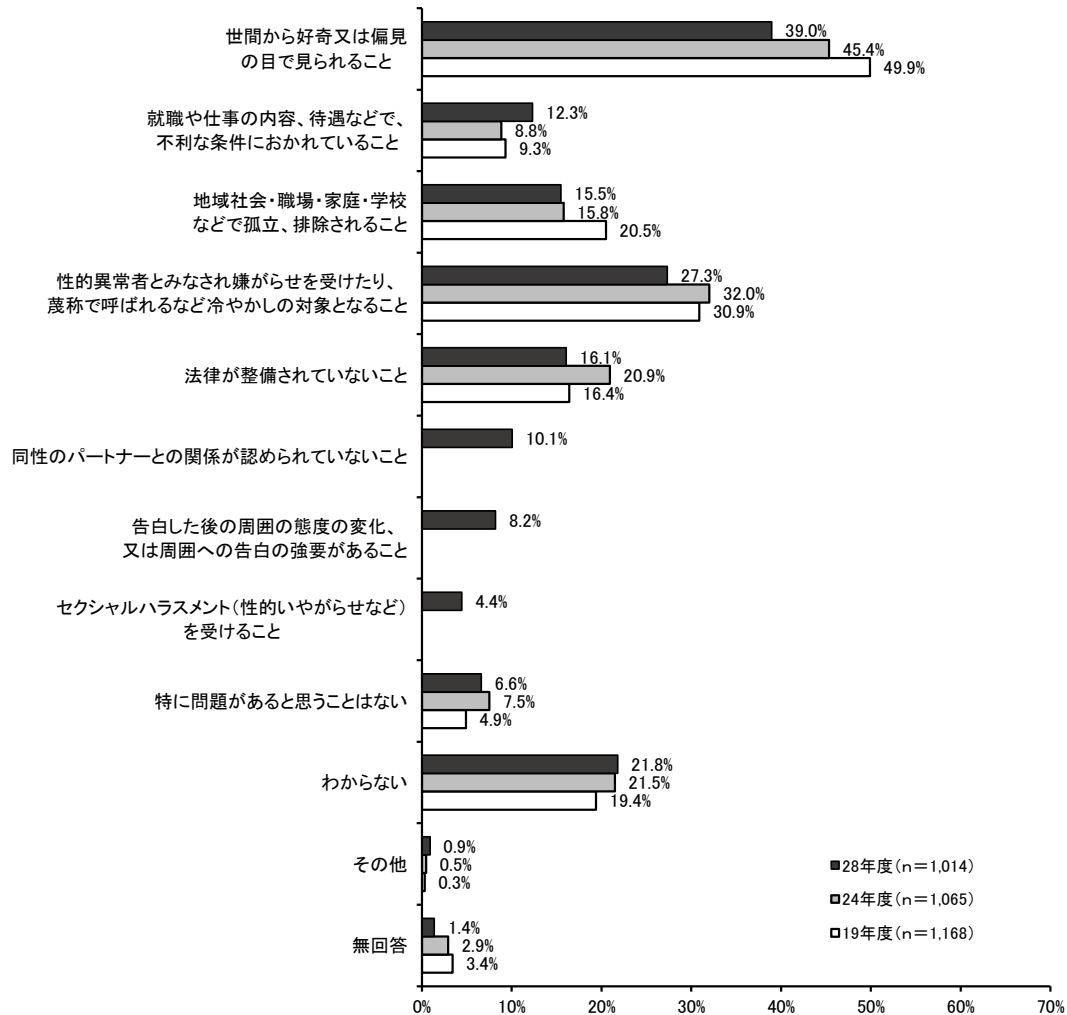


3-13 性的指向の異なる人の人権について

(1) 性的指向の異なる人の人権問題で、特に問題があると思うこと

問33 性的指向の異なる人の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。以下の中から2つまで選んで○をつけてください。



■ 「世間から好奇又は偏見の目で見られること」が39.0%と最も高く、次いで「性的異常者とみなされ嫌がらせを受けたり、蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること」が27.3%、「法律が整備されていないこと」が16.1%の順となっている。

■ 「わからない」は21.8%と相対的に高くなっている。

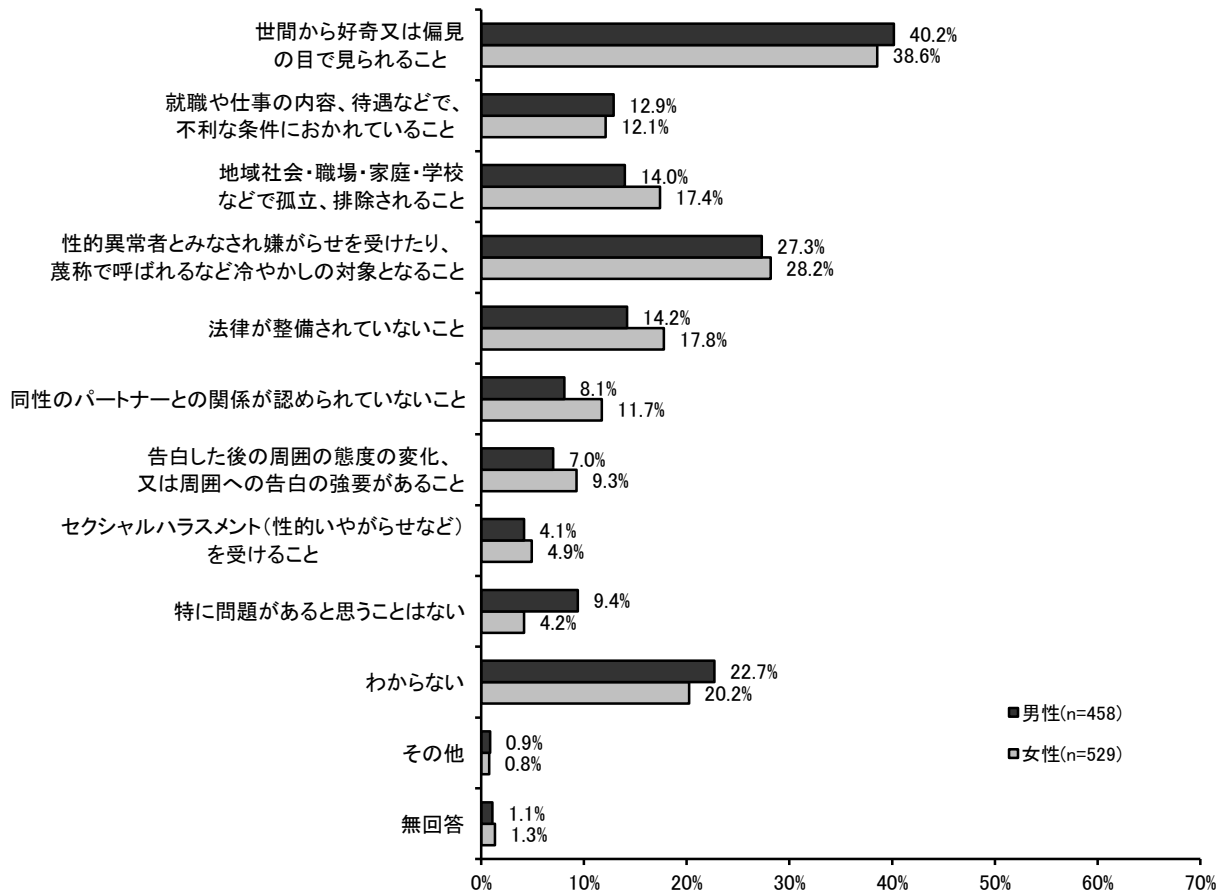
【前回比較】

■ 「世間から好奇又は偏見の目で見られること」は前回より6.4ポイント、「法律が整備されていないこと」は4.8ポイント減少している。「世間から好奇又は偏見の目で見られること」は前々回より10.9ポイント減少している。

■ 「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件に置かれていること」は3.5ポイント増加している

※ 「同性のパートナーとの関係が認められていないこと」「告白した後の周囲の態度の変化、又は周囲への告白の強要があること」「セクシャルハラスメント(性的いやがらせなど)を受けること」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

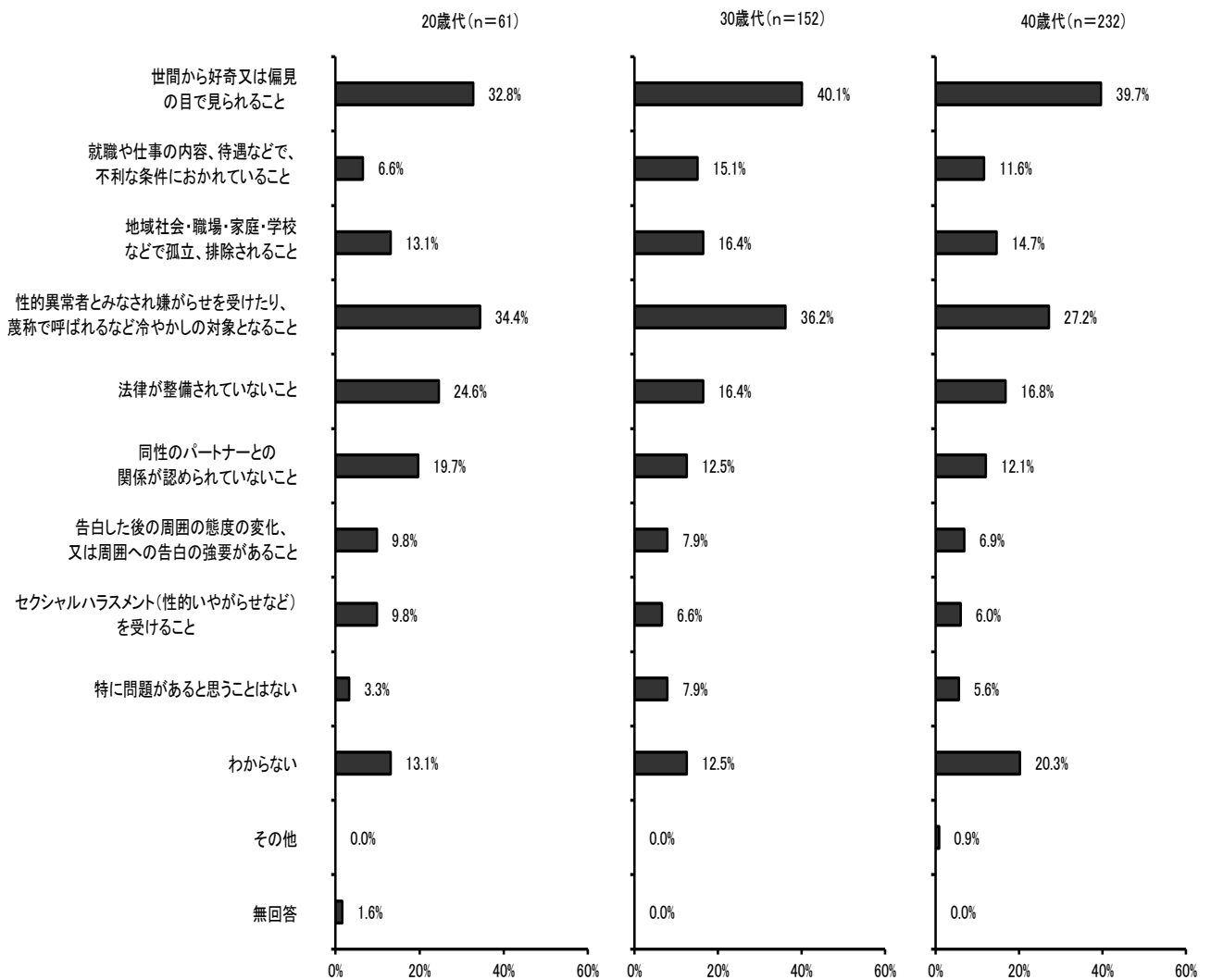
男女別

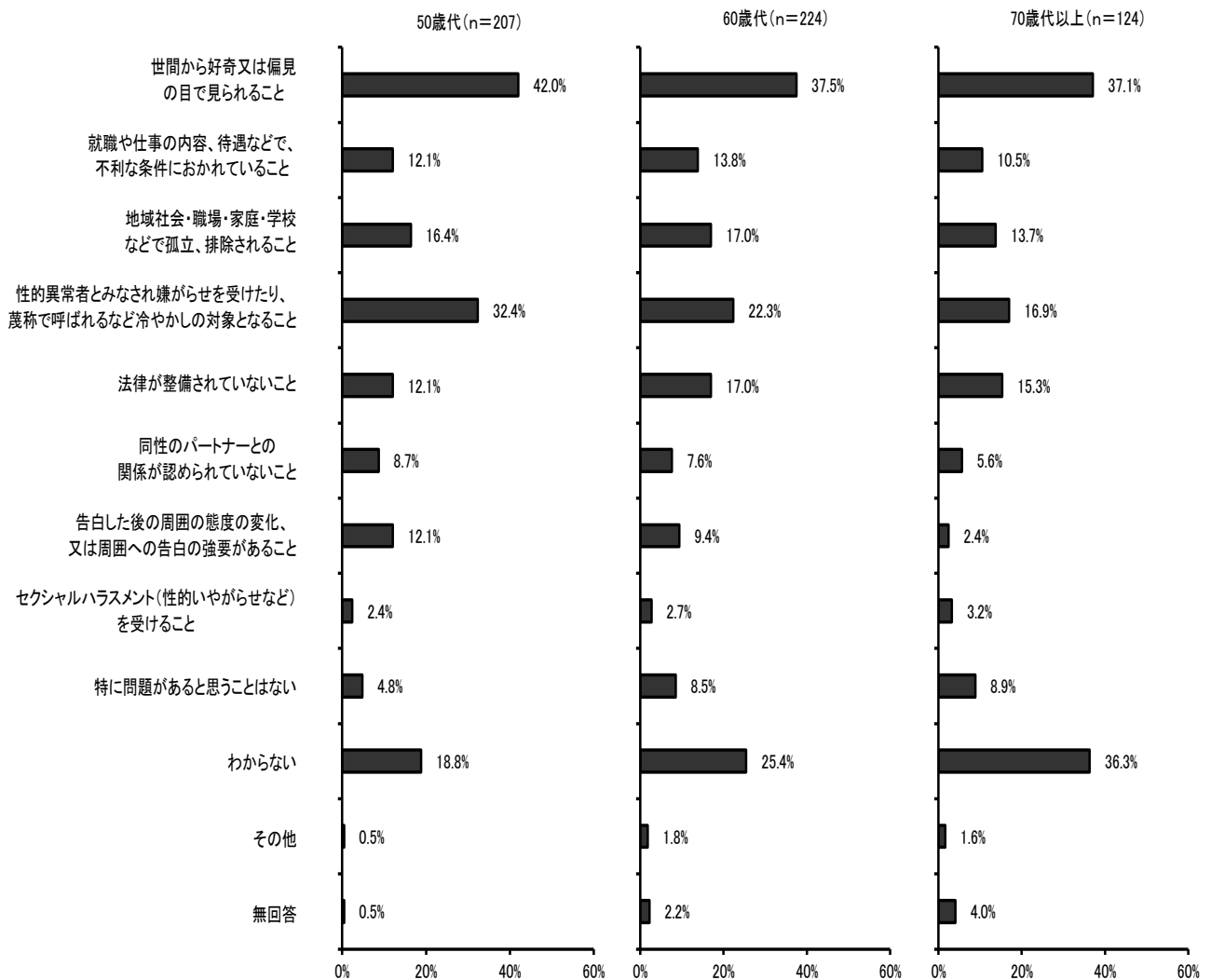


■男女共に「世間から好奇又は偏見の目で見られること」が最も高くなっている。

■「法律が整備されていないこと」「同性のパートナーとの関係が認められていないこと」の割合は、女性より男性が3.6ポイント、「特に問題があると思うことはない」は男性が5.2ポイント高くなっている。

年代別

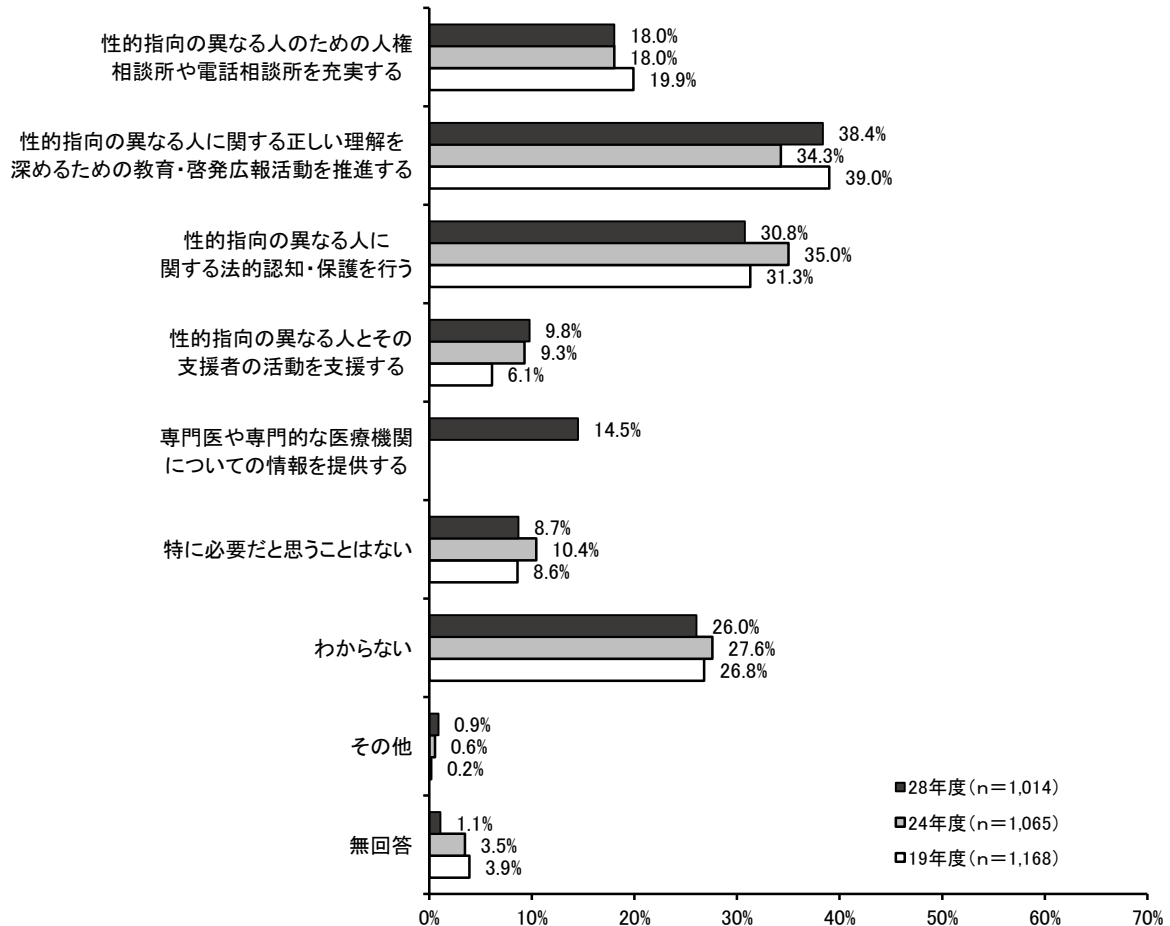




- 「性的異常者とみなされ嫌がらせを受けたり、蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること」の割合は、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。
- 「法律が整備されていないこと」は20歳代が24.6%と、いずれの年代より高くなっている。
- 「わからない」の割合は、年代が上がるにつれて高くなっている。

(2) 性的指向の異なる人への人権問題を解決するために必要なこと

問34 性的指向の異なる人への人権問題を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。以下の中から2つまで選んで○をつけてください。

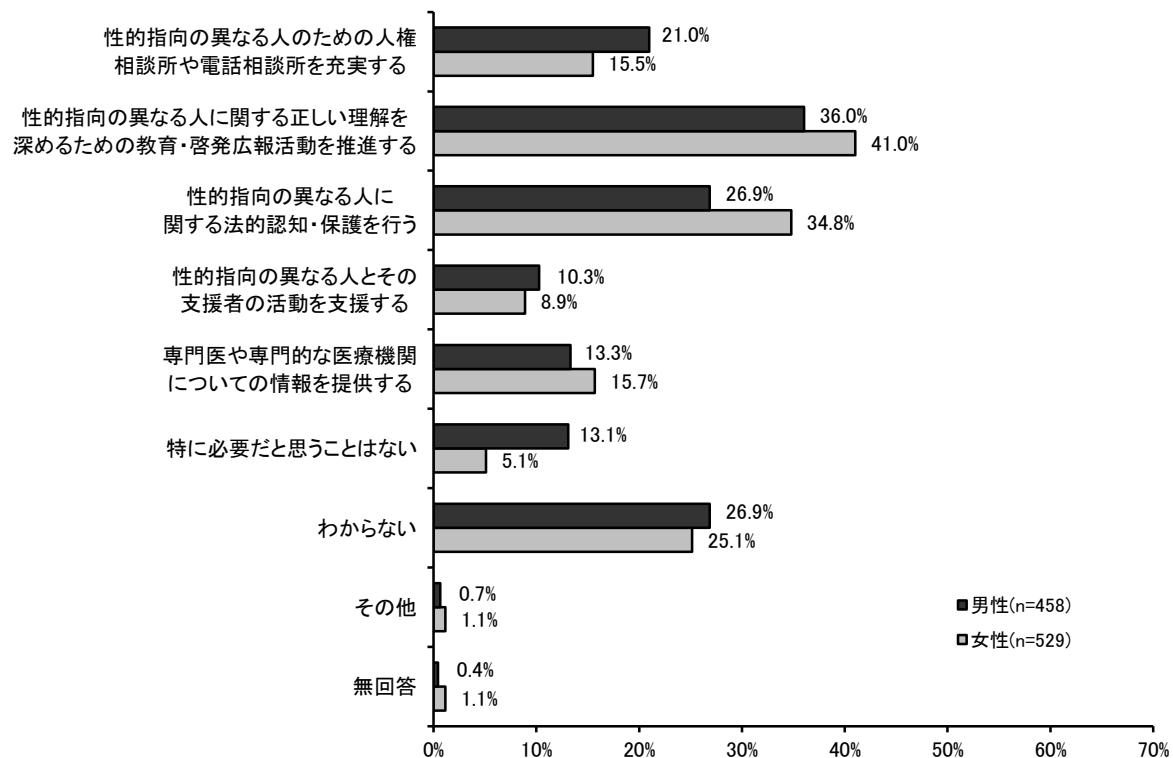


- 「性的指向の異なる人に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」が38.4%と最も高く、次いで「性的指向の異なる人に関する法的認知・保護を行う」が30.8%、「性的指向の異なる人へのための人権相談所や電話相談所を充実する」が18.0%の順となっている。
- 「わからない」は26.0%と相対的に高くなっている。

【前回・前々回比較】

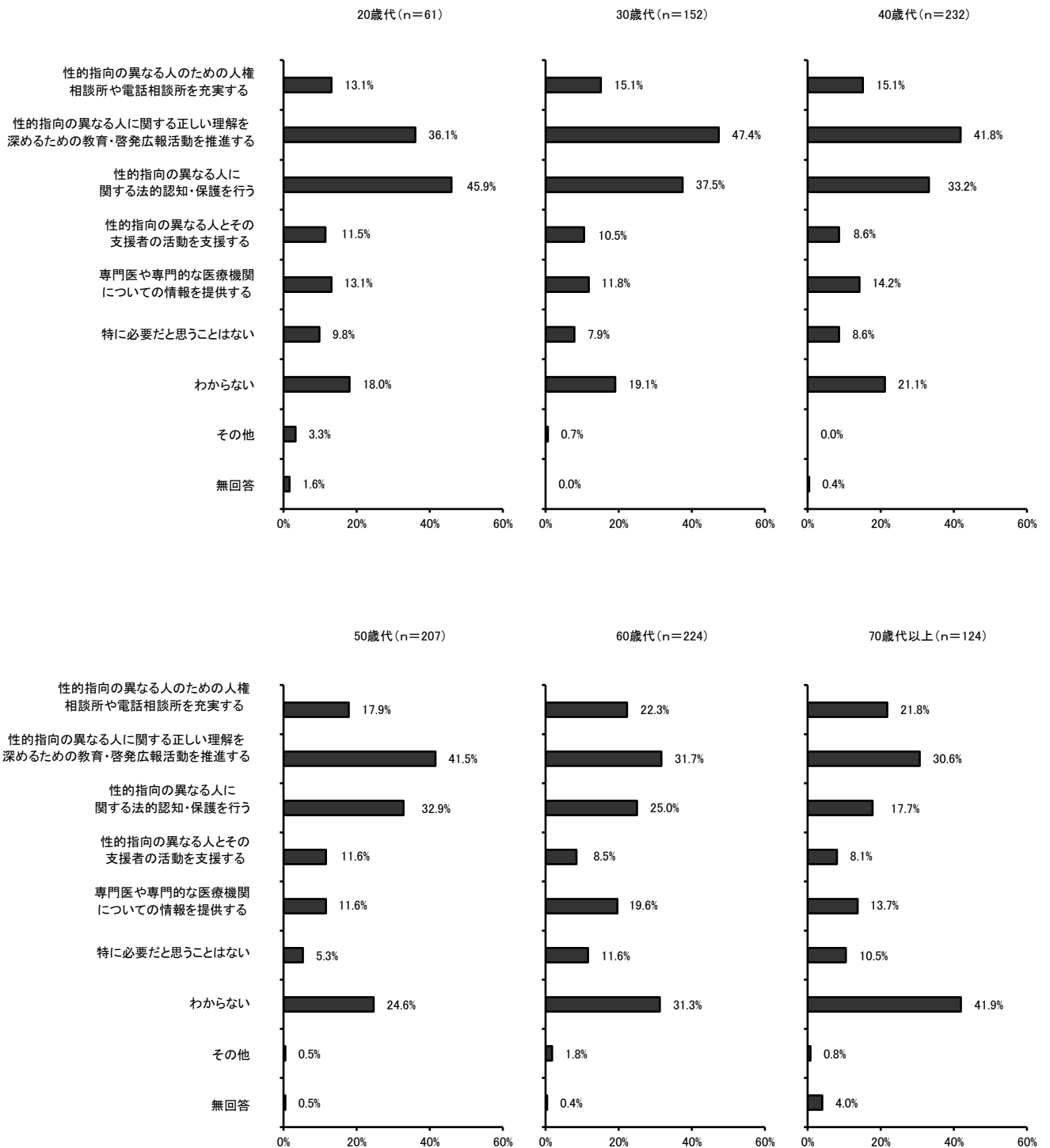
- 「性的指向の異なる人に関する法的認知・保護を行う」は前回より4.2ポイント減少しており、「性的指向の異なる人に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」は4.1ポイント増加している。
 - 「性的指向の異なる人とその支援者の活動を支援する」は前々回より3.7ポイント増加している。
- ※ 「専門医や専門的な医療機関についての情報を提供する」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

男女別



- 「性的指向の異なる人に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」は女性が4割と最も高くなっている。
- 「性的指向の異なる人のための人権相談所や電話相談所を充実する」は女性より男性が5.5ポイント、「特に必要だと思うことはない」は8.0ポイント高くなっている。

年代別



- 「性的指向の異なる人に関する法的認知・保護を行う」の割合は、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。
- 「性的指向の異なる人に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」は30～50歳代で、いずれの年代より高くなっている。
- 「わからない」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。